

京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H25年6月22日（土）

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林長の徳地直子教授による「森林施業と環境について」の講義と、「徳山試験地内の自然観察」が実施されました。17名の参加者の皆さんは、講義を熱心に聴講され、またフィールドワークの際も積極的に質問をされるなどして、講座に意欲的に取り組まれました。



← 森林の適切な管理方法と環境に与える影響などについて、講義がありました。



↑ 自然観察の様子です。



たいへん有意義な
研修となりました

